

障害者支援施設ゆうとぴあ恵愛 令和 8 年度第1回地域連携推進会議 議事録

日 時:令和8年7月2日(木)14:30~16:00

場 所:ゆうとぴあ恵愛4階会議室及び建物内訪問

出席者:(委 員)津島市障害福祉課職員、津島市基幹相談支援センター職員、地域民生委員、
NPO 法人代表理事、利用者家族代表、利用者代表 各1名
(オブザーバー)津島市障がい者総合支援協議会 生活支援部会所属施設職員 1 名
(事務局)施設長、施設長補佐兼主任指導員、指導員

議 題

1 施設長あいさつ

- ・今年度第 1 回目の地域連携推進会議にご出席いただきましてありがとうございます。
委員の方も人事異動で変更があったこと、今回も津島市障がい者総合支援協議会の生活支援部会からオブザーバー参加で 1 名見えていることから改めて後ほど自己紹介をお願いします。施設では今年度から新たに地域移行担当者の選任やカスハラ基本指針策定と対応などが義務付けられたことを受け方針等を作成し 4 月から運用しているところです。障害者施設等の問題も多く取り上げられていますが、コンプライアンスを遵守ししっかりとした運営に努めていきます。いくつか報告させていただき皆様方から忌憚のない意見をいただき、よりよい施設運営にしたいと思っております。最後に施設見学も予定しておりますので合わせてご意見ください。

2 出席者紹介

一部委員変更の為、出席者各自、所属等含めての自己紹介を実施してもらう

3 議 題

(1) 令和 7 年度事業報告について(事務局より説明)

◎令和 7 年度事業報告をもとに説明

- ・令和 7 年度はコロナやインフルエンザ等の感染症の集団発生がなく利用率は前年より入所で 2.4%アップ、短期入所では 37%アップした。
- ・入所者の平均支援区分が 5.6、区分 5 及び 6 の割合は84%。市町村別では 20 の市町村から利用され、海部津島地域が 61%を占める。
- ・平均年齢は約 58 歳で高齢化しているが、高齢者施設への移行を希望される方はほとんどない。
- ・入退所では各 5 人の方の入退所があった。
- ・在所期間状況では平均 10 年 10 ヶ月で 15 年以上の方が 20%ほど見える。
- ・入院状況は延べ 41 人の方が延べ 750 日で、1 日あたりでは 2.1 人。入院日数は前年

より約 400 日減少。

- ・夏にはご家族参加の歌謡舞踏ショー、春にはマジックショーを開催。少人数での外出活動や、衣類の出張販売を実施した。
- ・食事は経管栄養の方が 14 名。経口摂取の方も重度化や高齢化により嚥下力低下傾向。嗜好調査を定期的に行い利用者からの要望で現在毎週火曜日はカレーの日とした。
- ・短期入所は感染症の利用制限がなかったことや、事情によって長期の利用があったことから、前年より 440 日あまりの利用増。
- ・地域活動支援センター事業では、入所や入院になった方もおり例年より平均利用が約 1 人減り 11 人の利用にとどまった。

◎事業実績資料をもとに説明

① 利用人員の確保と支援内容の充実

相談支援事業所説明会を開催し施設の理解と利用者確保に努めた。

② 利用者の社会経済活動参加の促進

③ 災害防止・感染症対策による利用者の安全確保

当法人はじめ安藤病院や老人保健施設等との関連 3 法人の会議を定期的に行い、災害時等の協力体制を中心に検討している。

④ 地域社会に開かれた施設への推進

⑤ 利用者の自立及び地域生活移行の促進

地域移行担当者を指名しその指針を作成し、半年ごとのモニタリングや支援計画において、利用者の方やご家族の数の意向も伺いながら、あわせて地域の事業所情報の取得に努めた。

⑥ 運営意識の高揚と経費の効率的執行

⑦ 職員の資質の向上と専門性の確立

医療的ケアが必要な方に介護職員も対応するために、喀痰吸引資格者の養成を計画的に進め、今年 4 月から県に実施事業所登録を行った。

⑧ 職員の働きやすい環境づくりの推進

職員の生産性向上、業務改善でシステムを 3 月から本格導入。パソコンやスマホで必要な情報入力と同時に各部署の情報共有ができた。外国語の翻訳機能もつき有効活用が期待される。

(2) 令和8年度職場研修計画について～外部講師による研修を中心に～(事務局より説明)

外部講師 6 名の方に依頼し、全 8 回実施。他にも職員が講師となり研修実施した。令和 8 年度も同様に実施、義務的なものに加え、職員の要望を受け介護技術向上を目的とした研修や当施設の事故内容を分析し傾向と対策を立てるための事故防止研修を予定している。

(3) ハラスメントに対する施設の対応方針について(事務局より説明)

各種ハラスメントについては以前から更新や研修等を実施してきた。10月からカスタマーハラスメントの対応方針を策定することが必要となりこの4月から基本方針を策定し、運営規定や重要事項、説明書の変更、県やご家族の方に変更事項を提示お知らせした。利用者に向け館内各所に関係掲示物を掲示した。

(4) 令和7年度の介護事故の状況について

令和7年度の事故発生は170件。前年から17%増加。県への報告事項は6件。うち5件が骨折事故。利用者ごとに個性がありその対策や対応方法についても個別的である。利用者の長期入所により機能低下に対する意識が利用者、職員ともに薄く、職員が利用者の高齢化、重度化の理解と筋力や骨密度低下を十分理解するということ意識付けする機会となった。事故最多は転倒50件で約30%。次に知的障害の方で言葉がうまく発せられずに起こった暴力他害。ヒヤリハットは全体で165件、軽微な事故は150件報告。ハインリッヒの法則を意識し、いかに小さいものを見落とさないか、その気づきに注目し、職員間でその共有を図っていくべきと思い令和8年度は事故防止研修を外部講師にて行う予定。

(5) 令和7年度苦情の状況について

苦情はありませんでした。

(6) 施設で実施している生産活動の内容などについて

生産活動において利用者とアクリルたわしやアイロンビーズ作品を作り、近隣の商業施設の福祉ブースでの販売や津島市で開催されるチャレンジドフェスティバルでの販売を行っている。

4 各委員からの意見や質問及び回答

委員1…地域移行について担当者は誰か。地域移行の状況、要望はあるか、取り組みはどんなことをしているか。

事務局…担当は指導員。ケアプランや計画相談の方とのモニタリングなどで利用者自身の意向を確認しているが具体的に地域で生活したいという方は現在いない。意向は変わるので定期的に確認し、要望があれば関係機関と調整していく。取り組みとして周辺地域のグループホームなどの情報を集めており希望者に紹介する準備をしている。

委員2…職員の資質向上として取り組んでいる職員の評価事業とはどんな取り組みか。

事務局…法人の取り組みとして、年に1度職員にいくつかの項目に基づいて自己を5段階評価してもらう。それをもとに上長と面談し二次評価をする。施設長補佐が三次評価、施設長が最終評価を行っており優秀者上位数名は表彰している。別で自発的に資格を取りに行く職員もありそれに対する評価もしたい。

委員3…もともと身体障害の方々の割合が多いので、ご高齢になっても、この施設で生活することは可能になっていると思うが、65歳以上の方が、男女合わせて24名、平均は58歳とあるが最高齢はいくつか。

事務局…最高齢は85歳と3ヶ月、一番若い方は26歳とか5ヶ月。

委員3…7年度の事業報告、事業実績を受け8年度の運営目標はどんなか。

事務局…前回の会議の場で骨子としてお伝えしてあった為今回は省略。前回の議事録を参照ください。

委員3…2人を1組として、外出を月間予定に組み込んでいるとあるがどの程度いけているか。

事務局…介護の勤務表ができてからプランディングをしていくが週1回ぐらいが基本。公園に行かれる方や近くの複合施設が人気。行き先のご希望を聞き、担当者がプランニングしている。

委員3…生産活動で実際に利用者の方が販売活動をすることはあるか。

事務局…近隣の商業施設の福祉ブースは場所借りでの販売だが、チャレンジドフェスティバルでは普段生産活動に参加している利用者も販売を行っている。

委員3…利用者の方の社会参加、利用者も手応えを感じてもらえ地域移行のツールにもつながっていくと感じました。

委員3…事故の件数が増えたということだが、逆に言うときちんと事故報告として挙がってきているという意味ならば職員の意識も確実に上がっているんだろうと思いました。職員だけで目が届かない場面も多いとの事だが今後の課題としつつ機械や見守りシステム、人間じゃないとできないところ以外を予算を組んで導入できるといいですね。

委員3…第三者評価事業は受けていないか。

事務局…費用面で行っていない。今は職員研修に重きを置いており資格を取って、施設運営に役立てたいと考えている。

委員2…強度行動障害の研修は自身のグループホーム職員にも積極的にとってもらいたい。普段から障害のある方々にどう寄り添えるか、障害といえども我々と同じと職員に理解、支援してもらいたいと考えている。家庭的な雰囲気は守りつつ福祉の原点に立ち返りやっていきたい、職員の意識改革を進めたいと思った。

委員4…食事場面において介助が必要な方はどれくらいいるか。

事務局…(令和8年3月31日時点で)全介助の方が25名。(うち14名は経管栄養)一部介助の方が13名。自立の方もむせたりちょっとした介助があり職員の見守りが欠かせない状況。特に自閉症のある方、音や環境に影響されるので他の方と時間をずらして食べていただくこともある。

委員5…他の地域でいわゆるタイミーのようなすき間バイトという形の職員募集をされているところがあると聞いたが、利用されているか。

事務局…隙間バイトについては先日、県内の他の施設から情報をもらったところ。募集の仕方、資格や時間・業務を限定的にするなどして対応しているところはあると聞くが利用者の安全面を考えると当施設は慎重な構え。

委員5…津島市に成年後見センターが出来、市民後見人を養成することになったが今後施設見学を希望された時に見学等対応していただけるか。

事務局…協力したいと思いますのでまた相談ください。

委員6…利用者の健康診断はどうなっているか。

事務局…年2回健康診断をおこなっている。血液検査やレントゲン、心電図など。嘱託医の先生が診られて異常があればご家族への報告、精密な検査や総合病院や専門医へかかったり、どうされるかを相談の上進めていく。

5 施設内訪問 PM3:40~PM4:00

4階地域活動支援センター ➡ 3階利用者フロア ➡ 2階利用者フロア
➡ 1階食堂・浴室 の順に訪問

* 次回の会議は令和9年2月頃を予定しますが、改めて日程調整させていただきますのでよろしくお願いします。本日は、ありがとうございました。